

11月  
26日

オリジナルカレンダーで新年を  
〜切り絵で干支のカレンダー作り〜



市民ボランティア(川上もとと子さん)のご指導のもと、佐屋児童館で切り絵の干支をあしらったカレンダー作りが行われました。6種類の型紙から好きな絵柄を選んで、型紙にそって和紙をカッターで慎重に切り抜いています。カレンダーの台紙に飾りつけをして、世界にたったひとつしかないオリジナルのカレンダーが出来上がりました。

12月  
6日

農は万業の大本なり  
〜新規就農者へ記念品贈呈〜



祖父の代で途絶えたイチゴ農家の経営を、自らの手で再興することを決めた中川幸雄さん(内佐屋町)が市長へ抱負を語りました。



子どもの頃、祖父の手伝いをしたのがきっかけで、会社員を辞めて農家へ転身。市長から激励を受けた中川さんの表情は希望に満ちています。

12月  
2日

地元野菜のアイデアメニュー第2弾登場!  
〜佐屋高校生表敬訪問〜



佐屋高校生が地元カレー店の協力のもと地元野菜(蓮根・人参・生姜・葱)を活用したメンチカツカレーを開発し、その報告のため市長のもとを訪れました。生姜と葱の風味が効いたシャキシャキのメンチカツ。高校生のアイデアがいっぱい詰まった愛西グルメが登場しました。

12月  
11日

これからも自分を磨いて  
〜中学生人権作文県大会 最優秀賞受賞〜



県内299の中学校・1万5千2点の応募のあった平成25年度全国中学生人権作文コンテスト県大会で、立田中3年菱沼陽介さんの作文(テーマ:僕の障がい)が最優秀賞(名古屋法務局長賞)に選ばれました。受賞の報告に来庁された菱沼さんは、「何事も諦めずに頑張っていきたい。」と市長に抱負を述べられました。この作文は、愛知県代表として全国大会に推薦され、名古屋法務局のホームページ(人権擁護関係)に掲載されています。